

長久手市多文化共生推進プランアクションプラン及び令和4年度事業予定

資料2-1


基本目標1 地域での日本語教育の体制づくり

項目	内容	R3	R4	R5	取組主体	R4事業予定
日本語学習が継続できる環境づくり	定期的かつ長期的に日本語教室が開催できる会場を確保します。	日本語教育の体制づくりを市事業と位置づけ、会場を確保			市	・日本語教室を委託事業として実施
	継続的に外国人市民が学習できるように、教室の開催日や時間帯などニーズを把握し、対応します。		多文化共生に関するアンケート調査結果及び学習者へのアンケートからニーズ把握	ニーズに対応した日程で試験的に開催し、検証	市 国際交流協会	・日本語教室学習者等にアンケートを行い、開催日及び時間帯のニーズ把握を実施
日本語教育に関する研修の実施	地域の日本語教育について学ぶ研修を愛知県立大学と合同で実施し、支援者のスキルアップを行います。	日本語教室ボランティア向けにスキルアップ研修を実施			市 国際交流協会	・日本語教室で課題となっていることを洗い出し、研修として実施
	新たな支援者の発掘や育成に向けた講座などを実施し、支援者を増やす取組を行います。	潜在ボランティアを掘り起こす研修を実施			市 国際交流協会	・入門ボランティア講座の開催
子ども向け日本語教室の開催	地域のニーズを把握し、子ども向けの日本語教室を検討し、開催します。	国際交流協会でも実施し、ニーズ把握や問題点を検証			市 国際交流協会	・子ども向け日本語教室を委託事業として実施 ・ニーズ把握や活動内容を検証


基本目標2 外国人児童生徒への日本語および学習支援

項目	内容	R3	R4	R5	取組主体	R4事業予定
外国人の子どもの就学促進	外国人の子どもの就学の際に、学校についての情報提供や就学に向けた支援が行えるよう、行政機関での情報共有および愛知県国際交流協会をはじめとする関係機関との連携を図ります。	・多文化共生推進会議で意見収集 ・市関係各課が連絡会議を実施	市、教育委員会、国際交流協会が連携し、日本語教室に通う子どもと保護者に対して就学に必要な情報提供を実施		市 教育委員会 国際交流協会	・日本語教室に通う子どもとその保護者への就学に必要な情報を提供
学校での日本語教育と学習支援	日本語指導が必要な外国人児童生徒に対応するため、市担当課、国際交流協会、市教育委員会との連携を図ります。	活動報告を学期ごとに実施し、情報共有と課題を整理			市 教育委員会 国際交流協会	・各小中学校への派遣制度の説明及び周知 ・学期ごとの情報共有
	日本語の初期指導内容について検討します。	市、教育委員会が外国人児童の現状や対応方法を検討	教育委員会で長期的な方向性を検討	教育委員会で外国人児童生徒受入れマニュアルを作成	市 教育委員会	・プレクラスに関する先進地視察の実施 ・今後の方向性を検討
外国人児童生徒に対する学習支援者の養成	学校での学習支援や日本語教育に対応する学習支援者の養成を行います。	国際交流協会が年1回養成研修を開催	市、教育委員会が連携し、学習支援者派遣の制度化		市 教育委員会 国際交流協会	・派遣の制度化 ・支援者同士の情報共有

基本目標 3 日本語学習内容の充実

項目	内容	R 3	R 4	R 5	取組主体	R 4 事業予定
生活の場面で使用する日本語の学習支援	銀行、病院、郵便局など生活の場面で使用する日本語の表現や単語について、学習内容に組み込みます。	市から国際交流協会への日本語教室委託事業に課外学習を組み込み	日本語教室学習者へのヒアリングや先進地等の事例を参考に、年間カリキュラム作成、実施		市 国際交流協会	・市、国際交流協会、愛知県立大学が連携し、生活場面教材（動画）を作成
「読み・書き」能力の向上支援	日本語教室において「読み・書き」を中心とした読解やアウトプット形式の学習を行います。		愛知県国際交流協会や先進事例を持つ日本語教室へヒアリングし、学習方法を検討	日本語教室で実施	市 国際交流協会	・学習方法の検討
さまざまな学習方法の情報提供	外国人市民が個人での日本語学習に活用可能な教材（アプリや教科書など）について情報を提供します。		日本語教室で教材を試験的に導入し、評価を取りまとめ	市及び協会ホームページで日本語学習教材を情報提供	市 国際交流協会	・市、国際交流協会、愛知県立大学が連携し、生活場面教材（動画）を作成

基本目標 4 外国人市民への日常生活サポート

項目	内容	R 3	R 4	R 5	取組主体	R 4 事業予定
やさしい日本語・多言語での情報提供	ホームページの多言語化など、日本語能力が十分でない外国人市民に対して、生活に必要な情報を提供するための施策に取り組みます。	・市ホームページ内にやさしい日本語での外国人向けページを作成 ・国際交流協会でのSNSの立ち上げ	庁内ニーズ調査	多言語での情報作成	市 国際交流協会	・国際交流協会のSNS立ち上げ及び運用 ・外国人にニーズのある情報をやさしい日本語等で提供
生活相談体制の確保	転入時、生活に必要な情報を外国人市民に提供できるように市担当課と国際交流協会連携を図ります。		市が、ニーズ高い情報をやさしい日本語で作成	多言語での情報を市、国際交流協会が連携して作成	市 国際交流協会	・市が外国人にニーズのある情報をやさしい日本語等で提供
	リモテラス公益施設をはじめとする公共施設において、外国人市民に対する情報発信や日常生活サポートの実施に向けて取り組みます。	国際交流協会がリモテラス公益施設で行う相談窓口の状況を検証	・国際交流協会がよくある相談や外国人からの要望を取りまとめ、Q & Aを作成 ・国際交流協会と市で情報共有	市、国際交流協会での今後の取組を検討、実施	市 国際交流協会	・市、国際交流協会が外国人コミュニティやキーパーソンの発掘につながる事業を実施 ・国際交流協会におけるSNSでの情報周知
関係機関との連携	問題解決に向けて迅速な対応ができるように、愛知県国際交流協会や出入国管理局といった各種関係機関と連携を図ります。	・多文化共生推進会議で意見収集 ・市関係各課が連絡会議を実施 ・市、国際交流協会が市社会福祉協議会と情報共有を実施			市 国際交流協会	・市、国際交流協会、愛知県立大学が連携し、外国人向け防災研修を実施

基本目標5 多文化理解と多文化交流の促進

項目	内容	R 3	R 4	R 5	取組主体	R 4 事業予定
多文化理解講座・語学講座の開催	日本人市民が外国の文化や習慣を学べる多文化理解講座や、外国人の講師を招いた語学講座を開催します。	外国人の国際交流協会会員を講師とした講座の開催			国際交流協会	・外国人が母国や言語について市民に啓発する事業を実施
国際交流イベントの開催	日本人市民と外国人市民がともに主体となって運営し、交流の場を創出する国際交流イベントを開催します。	外国人の国際交流協会会員が主体となるイベントの企画、運営			国際交流協会	・企画から外国人に参加してもらい、外国人目線で参加してみたい事業を実施